



イルジー・ヴォディチュカ (ヴァイオリン)

Jiří Vodička, violin

14歳でオストラヴァ大学の芸術研究所（現在の同大学芸術学部）への入学が許可され、高名な指導者ズデニェク・ゴラに師事する。2000年にコチアン・ヴァイオリン・コンクール、2004年、ワイマールのシュポア国際ヴァイオリン・コンクールで優勝。2008年、ライプツィヒで開催されたユース・コンサート・アーティスト・コンクールでは、数百名の器楽奏者を抑えて優勝し、翌年ニューヨークで行われた決勝に進み2位となる。2007年よりソリストとして活動を開始する。2015年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団に入団し、瞬く間に手腕を発揮し、コンサートマスターに大抜擢されて今日に至る。今やチェコを代表するヴァイオリニストとして、これからの活躍に絶大な期待が寄せられる。



フランティシェク・ホスト (チェロ)

František Host, cello

プラハ音楽院にてヴィクトル・モウチカに、さらにプラハ音楽アカデミーにてヨゼフ・フッフロに師事。1975年にチェコ・フィルハーモニー管弦楽団に入団。首席チェロ奏者兼コンサート・マスターを経て、現在名誉首席チェロ奏者を務めており、まさにチェコ・フィルの重鎮的存在である。ソリストとして、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団、プラハ交響楽団、マドリッド国立管弦楽団、その他国内外で多くの室内管弦楽団と共演している。チェコ・フィルハーモニー八重奏団のメンバーでもあり、またコントラバスのイルジー・フデッツと20年以上に渡り“デュオ・ディ・バッソ”を組んでいる。CD録音も数多い。

木田左和子(ピアノ)



桐朋学園大学卒業後、ポーランド政府給費留学生としてポーランド国立ショパン音楽アカデミー（現ショパン音楽大学）研究過程に留学。留学中リサイタル、オーケストラとの共演の他、シマノフスキ、ルトスワフスキ等ポーランド作品の放送録音を行う。帰国後、リサイタル、日本シマノフスキ協会例会、NHK-FM放送の他、東京ゾリステン・サロンコンサートではソロやヴァイオリンとのデュオで毎回ポーランド作品を演奏。ポーランド・ラジオ・オーケストラとの放送録音、ヴィラノフ弦楽四重奏団、チェコ・フィルハーモニー・ゾリステンとの共演の他、ポーランド・カリシュ・フィルハーモニー、ヴァウブジフ・フィルハーモニー、山形交響楽団、東京ニューシティ管弦楽団の定期演奏会にソリストとして出演。1983年第1回シマノフスキコンクール（ポーランド）にてディプロマ、1993年第2回ウィーン国際コンクール（オーストリア）にてピアノ部門第2位及びジャン・フレデリック・ベルヌー賞受賞。2005年愛知万博ポーランド館にてリサイタル、2010年日本ショパン協会主催“ショパン・フェスティバル2010in表参道”にてリサイタルを行う。また2007年からシマノフスキ「3Mとマズルカ」リサイタルシリーズ(全3回)を行う。これまでに佐久間美智子、岡崎陽子、福岡敏彦、森恵子、上野久子、須田眞美子、バルバラ・ムシンスカの各氏に師事。現在、昭和女子大学非常勤講師、日本ショパン協会正会員。

ルーテル市ヶ谷ホール

- ◎JR総武線 地上出口 徒歩7分
- ◎都営地下鉄 新宿線 A1出口 徒歩7分
- ◎東京メトロ 有楽町線 5,6出口 徒歩2分
- ◎東京メトロ 南北線 5,6出口 徒歩2分

